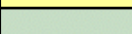
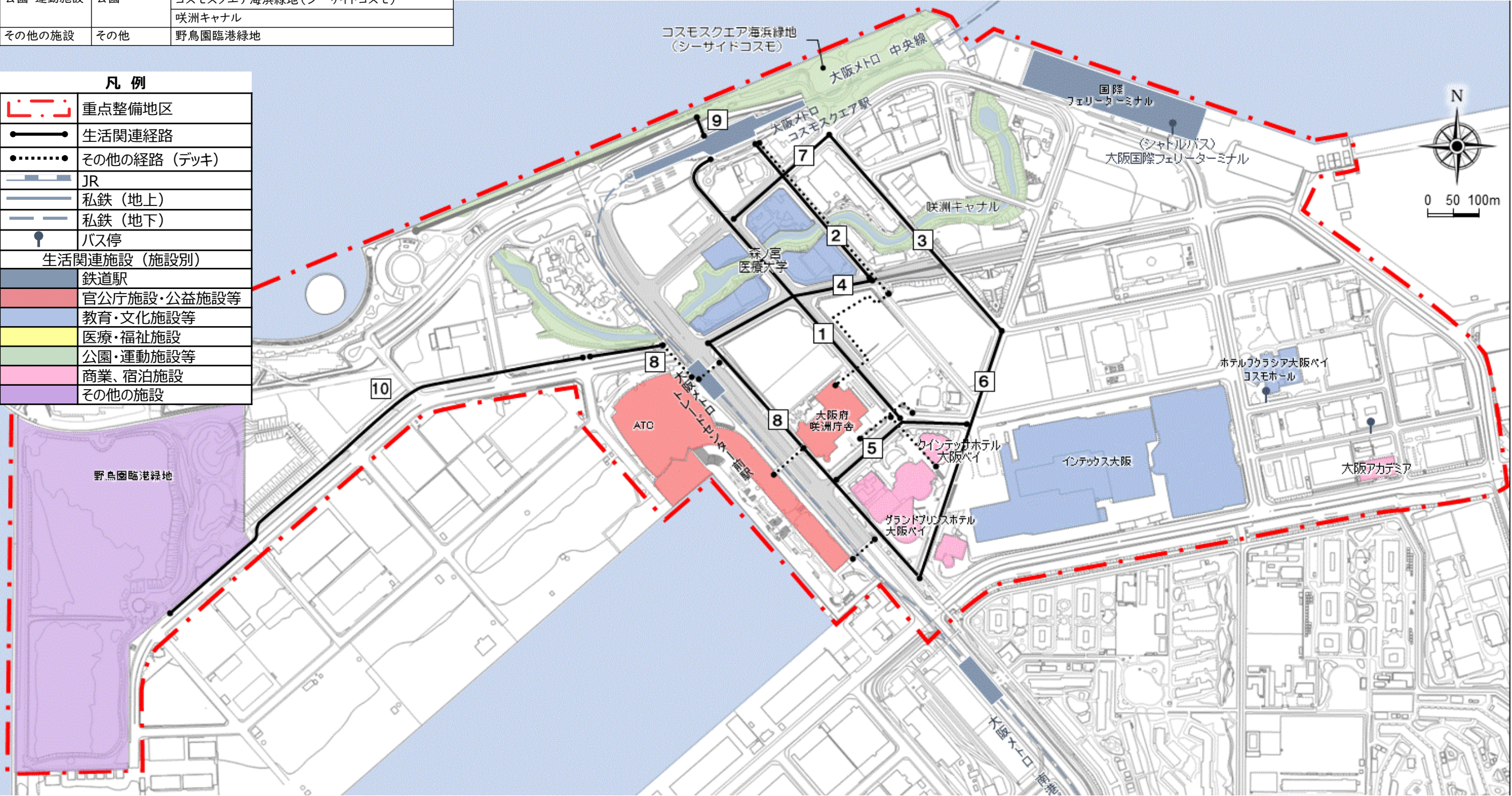


地区における生活関連施設・経路図

生活関連施設一覧		
旅客施設		Osaka Metro中央線 ニュートラム コスモスクエア駅
		Osaka Metroニュートラム トレードセンター前駅
		国際フェリーターミナル
官公庁等施設	官公庁施設	ATC
		大阪府咲洲庁舎
教育・文化施設	教育施設	森ノ宮医療大学
	文化施設	インテックス大阪
		コスモホール
商業施設		ATC
		大阪府咲洲庁舎
宿泊施設		グランドプリンスホテル大阪ベイ
		ホテルフクラシア大阪ベイ
		クインテッサホテル大阪ベイ
		大阪アカデミア
公園・運動施設	公園	コスモスクエア海浜緑地 (シーサイドコスモ)
		咲洲キャンナル
その他の施設	その他	野鳥園臨港緑地

生活関連経路の路線名	
1	コスモ1号線
2	コスモ2号線
3	コスモ3号線
4	コスモ中央線
5	コスモ南線(西)
6	はばたき通り線
7	コスモ国際フェリー線
8	大阪狭山線
9	コスモスクエア海浜緑地内通路
10	北埠頭幹線

凡 例	
	重点整備地区
	生活関連経路
	その他の経路（デッキ）
	JR
	私鉄（地上）
	私鉄（地下）
	バス停
生活関連施設（施設別）	
	鉄道駅
	官公庁施設・公益施設等
	教育・文化施設等
	医療・福祉施設
	公園・運動施設等
	商業、宿泊施設
	その他の施設



■整備等の内容

【鉄道施設】

■駅舎別の内容

コスモスクエア駅(Osaka Metro中央線)

整備等の内容	区分	整備時期
エレベーターの到着する籠の昇降方向を知らせる音案内設備の設置	●	前期
エスカレーターの行き先及び昇降方向を知らせる音案内設備の設置	●	後期
ホーム上にある出入口に通ずる階段位置を知らせる案内装置の設置	●	後期
車両とホームとの隙間・段差を縮小するためのホーム構造や車両構造の改良・整備	●	令和6年度

コスモスクエア駅(Osaka Metro南港ポートタウン線)

整備等の内容	区分	整備時期
エレベーターの到着する籠の昇降方向を知らせる音案内設備の設置	コスモスクエア駅(Osaka Metro中央線)と共通利用	
エスカレーターの行き先及び昇降方向を知らせる音案内設備の設置		
ホーム上にある出入口に通ずる階段位置を知らせる案内装置の設置		
プラットホーム床面等における、車両内の車椅子スペースに通じる乗降口の位置の表示	●	前期

トレードセンター前駅(Osaka Metro)

整備等の内容	区分	整備時期
エレベーターの到着する籠の昇降方向を知らせる音案内設備の設置	●	前期
エスカレーターの行き先及び昇降方向を知らせる音案内設備の設置	●	後期
ホーム上にある出入口に通ずる階段位置を知らせる案内装置の設置	●	後期
プラットホーム床面等における、車両内の車椅子スペースに通じる乗降口の位置の表示	●	前期

(参考):駅舎の整備等の方針(抜粋)

- ・券売機や精算機の構造や仕様の検討
- ・エレベーターの大型化等の検討
- ・バリアフリートイレへの大型ベッドの設置の検討
- ・授乳室やカームダウン/クールダウンスペースの設置の検討
- ・乗り換えや周辺地域・施設への案内・誘導サインの整備における事業者間の連携方法の検討
- ・券売機等の双方向コミュニケーションや遠隔操作が可能な仕様など全ての人が使いやすい券売機等の設置の検討
- ・高齢者、障がい者用の個別機能を備えた便房や複数の機能を備えた便房の分散化、オールジェンダートイレの設置の検討

■駅舎共通の内容

整備等の内容	区分	整備時期
車椅子使用者に配慮した蹴込み構造の検討	○	－
エレベーターの大型化等の検討	○	－
バリアフリートイレへの大型ベッドの設置の検討	○	－
授乳室等やカームダウン/クールダウンスペースの設置の検討	○	－
他施設及び他事業者・他路線への乗継ぎ経路等へのわかりやすい案内設備の設置の検討	－	－
バリアフリートイレの機能の分散化の検討	－	－
ウェブアクセシビリティを確保したウェブサイト等による情報提供	継続実施	
異常時における障がいの特性に応じた情報提供の手法の検討	継続実施	
障がい等の特性に応じたコミュニケーション手法の活用や必要とする支援の提供	継続実施	

【バス車両及びタクシー車両】

■バス車両

市内路線バス車両

整備等の内容	区分
ノンステップバスの導入	○
障がい者対応型案内誘導設備等への案内用図記号(ピクトグラム)の表示	○

空港アクセスバス

整備等の内容	区分
リフト付きバス又はエレベーター付きバスの導入の検討	○

■タクシー車両

整備等の内容	区分
ユニバーサルデザインタクシーの導入	○

【道路・交差点】

■道路

整備等の内容	路線名	区分	整備時期
視覚障がい者誘導用ブロックの敷設	コスモ2号線 コスモ中央線	●	前期
音響信号機等の押しボタンが操作できる位置までの敷設の検討(全地区の共通の方針を検討)		○	－

■案内・誘導

整備等の内容	区分	整備時期
バス停留所・タクシー乗降場への視覚障がい者誘導用ブロックと連携した音声案内等の整備の検討	○	－
コスモスクエア駅からバス停留所・タクシー乗降場までの視覚障がい者誘導用ブロックの敷設の検討	○	－
バス停から生活関連施設への視覚障がい者誘導用ブロックの敷設の検討	○	－

■整備区分

整備区分	整備等の内容
特定事業●	整備内容と完成時期を明確にして進める事業
関連事業○	整備の具体化に向けて検討や関連機関との協議が必要となる事業
継続実施	現在でも対策を行っており、継続して実施する事業(主にソフト的な事業)

※特定事業●:バリアフリー法第2条に基づく、公共交通特定事業、道路特定事業、交通安全特定事業、教育啓発特定事業

■整備時期

前期:令和12(2030)年までに整備
後期:令和17(2035)年までに整備
(検討に時間を要するもの、構造の変更に伴い大規模改修等の時期を捉えて実施するもの)

※整備内容が同じであっても、各地区及び施設の状況により整備時期が異なる場合があります。

■整備等の内容

■歩道上障害物

整備等の内容	区分
現行の「大阪市自転車等の駐車の適正化に関する条例」等の活用や鉄道駅周辺における放置自転車に関する全市的な取り組みの中で、特にバス停留所等や鉄道駅出口付近及びエレベーター付近の重点的放置自転車対策の実施	継続実施
商品・看板等の歩道へのはみ出しに対する是正の指導・撤去の推進	継続実施

■違法駐車対策

整備等の内容	区分
移動の円滑化を特に阻害する横断歩道上、バス停留所付近等の取締り強化 歩道の有効幅員の確保が困難な路線の取締り強化	継続実施

【心のバリアフリー】

■教育啓発事業の取組内容

整備等の内容	区分	関係者
一般利用者に高齢者、障がい者やSOGIESCの多様性への理解を促す等、心のバリアフリーに関する広報・啓発活動の実施	●又は○	道路管理者 交通管理者 鉄軌道事業者 バス事業者
職員への研修・教育の実施	●又は○	大阪市 鉄軌道事業者 バス事業者 大阪タクシー協会 タクシーセンター
基本構想に基づく取り組みの市民への周知・情報提供	●	大阪市
地域や関係団体との連携による多様な障がいの特性や必要な配慮、多様なSOGIESCについて理解するための取組の実施	●	大阪市
	●又は○	鉄軌道事業者 バス事業者 大阪タクシー協会
学校教育における「総合的な学習の時間」等での取組	●又は○	大阪市 バス事業者

■整備区分

整備区分	整備等の内容
特定事業 ●	整備内容と完成時期を明確にして進める事業
関連事業 ○	整備の具体化に向けて検討や関連機関との協議が必要となる事業
継続実施	現在でも対策を行っており、継続して実施する事業(主にソフト的な事業)

※特定事業●：バリアフリー法第2条に基づく、公共交通特定事業、道路特定事業、交通安全特定事業、教育啓発特定事業

■整備時期

前期：令和12(2030)年までに整備
後期：令和17(2035)年までに整備
(検討に時間を要するもの、構造の変更に伴い大規模改修等の時期を捉えて実施するもの)
※整備内容が同じであっても、各地区及び施設の状況により整備時期が異なる場合があります。